

令和7年度指定管理業務実績調書（指定管理者記入用）

公の施設名称： 藤岡市自然活用管理センター

所 管 課 ： にぎわい観光課

調査対象期間： 令和7年4月1日～令和8年3月31日

1. 指定管理者の概要

名 称	藤岡市自然活用センター	代 表 者	株式会社やどや 代表取締役
所 在 地	藤岡市保美濃山1859-2	指 定期間	平成31年4月1日～令和5年3月31日 令和6年4月1日～令和11年3月31日
業 務 内 容	(1) 自然活用管理センター及び付属施設・設備等の維持管理運営 (2) 観光農林漁業生産物及び物品等の展示、販売・飲食物の販売 (3) 観光客の休憩、宿泊業務及びその他利便の提供 (4) 観光情報の提供及び収集 (5) その他施設の設置目的に適合する業務 (6) 自主事業の企画実施		

2. 管理運営の実績

開館日数			利用者数		
	令和6年度	令和7年度		令和6年度	令和7年度
目標・計画	330	330	目標・計画	2600	3800
実績値	120	160	実績値	1672	2324
達成度	36%	48%	達成度	64%	61%
前年比	133%	133%	前年比	148%	139%

収支状況				
		令和5年度	令和6年度	令和7年度
収 入	計画	42,050,000	15,000,000	17,500,000
	指定管理料	0	0	0
	その他	8,882,329	7,014,000	7,497,954
	繰越	0	0	0
	合計	8,882,329	7,014,000	7,497,954
	前年比	169%	79%	107%
支 出	計画	39,310,000	14,510,000	16,610,000
	人件費	2,796,936	1,433,000	1,433,281
	光熱水費	492,862	566,000	984,102
	修繕費	0	0	263,900
	広告費	97,200	128,000	0
	その他	8,565,113	7,455,000	6,901,336
	合計	11,952,111	9,582,000	9,582,619
	前年比	92%	80%	100%
収支合計		-3,069,782	-2,568,000	-2,084,665
収支合計前年比		—	—	—

3. 管理運営の内容

申請書での計画内容
神流湖周辺全体の観光及び農林漁業等の産業振興を図るのための施設として地域の活性化を促し、にぎわいとやすらぎの機能を併せ持つ交流拠点として、市民等の平等な利用が確保されるよう管理運営を行う。また、宿泊及び飲食の提供を日々の業務として行うため、利用者の安心安全を最優先に徹底した衛生管理に努める。
実際に実施した内容
地域の特産品・体験スポットの連携を密に行い、独自イベントの作成。 林業の普及・後継者育成の分野に力を入れた体験型の研修・宿泊プランの実施。 HPやSNSによって季節の情報やイベント情報を提供。
評価・課題・今後の方針など
イベント及び研修・宿泊プランの実施により神流湖周辺全体の観光及び農林漁業等の産業振興を問題なく実施しているが、利用者数の目標を達成できていないため、利用客増加が今後の課題となる。 収支状況について、赤字収支が続いており、黒字収支にするため、経費見直しを行っていきたい。

4. セルフモニタリング

- *優良 : 協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。
- *妥当 : 協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。
- *課題あり : 協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標をほぼ達成しているが、一部に課題がある。
- *要改善 : 協定等の内容に重大な不履行がある、又は非常に不適切な管理運営が見られる。

(1) 施設による事業やサービス・利用者満足度の向上について

計画内容	職員を接客・食品安全等の研修に参加させ、サービスの向上と食品安全衛生に努める。HPやSNSを使用し季節の情報やイベント情報の発信。利用者の声を聞き、サービス改善に努める。
実施内容	オリジナル商品で使用する唐辛子の栽培は、耕作放棄地の活用や地元住民の雇用などに貢献。 地場産の食材、伝統的な献立の提供。 顧客台帳管理により利用者の声を聞き、細やかなサービスの提供。
評価項目	・適正な人員配置 ・案内等の対応と接遇 ・利用者の安全確保 ・苦情等への対応 ・アンケート実施や意見箱設置等 ・利用者のニーズを把握 ・利用者数 等
評価	課題あり：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標をほぼ達成しているが、一部に課題がある。
評価理由・課題等	協定等を遵守しており、サービス水準に問題はないが、利用者数が目標に達していない。 接客マナー研修未実施のため、次年度以降の課題としたい。

(2) 施設の管理について

計画内容	食品衛生管理。消防施設に関する点検。施設内巡視。避難経路・避難場所の周知
実施内容	労働衛生管理者・食品衛生管理者の責任者を専任し管理運営を徹底。 消防施設の点検。消防施設管理責任者を配置。 開扉・施錠時以外に1日数回の施設内巡視を実施。 施設内避難経路・野外避難場所の周知を徹底し、発生時を想定した訓練の実施。
評価項目	・建物保守管理 ・設備機器安全確認 ・管理記録 ・清掃、警備、衛生管理 ・省エネ、環境配慮 等
評価	課題あり：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標をほぼ達成しているが、一部に課題がある。
評価理由・課題等	衛生管理、安全管理等問題なく、運営できている。設備・機器の老朽化があるため、安全確認を徹底していきたい。

(3) 収支状況について

計画内容	電気代高騰に対応するため、待機電力を細かくカットし節電に努める。
実施内容	契約電氣量を超えると警報が鳴るシステムを活用し待機電力のカットに努めた。 ロビー照明のLED導入により節電に努めた。 食品の製造過程を見直し在庫を持たない生産体制確立
評価項目	・事業経費見直しによる収支改善努力 ・利用者増等による収支改善努力 ・指定管理者の経営状況 等
評価	課題あり：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標をほぼ達成しているが、一部に課題がある。
評価理由・課題等	前年度より収入は伸びているが、赤字が続いている状況であり、さらなる利用者の獲得が必要である。また、物価高騰の影響により支出増加が予想されるものがあり経費削減の対策が課題

(4) 総合評価

評価	課題あり：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標をほぼ達成しているが、一部に課題がある。
評価理由・課題等	施設の管理運営について、協定書及び仕様書に基づき概ね適性に管理運営が行えている。 令和7年度は前年度に比べ利用者数が増加している。令和8年度には風呂の改修工事が行われるため宿泊者等のさらなる利用客の増加を目指したい。また、収支状況について赤字が続いているため、収入の増加及び経費の見直しを課題とする